

石尊山山行報告



【山行日】 2016年 9月 25日(日) 晴れ
【集 合】 岩舟支所P AM 6:00
【費 用】 マイカー1台 : 2,200円
【メンバー】 CL:鈴木コ 石田、大西、島田、鈴木ヤ、
関、藤原、渡辺ト

【コースタイム】岩舟支所 P6:00=石尊山登山口 P
7:55/8:10~血の滝 9:30/9:50~おはぐろ池 10:40~
石尊山 11:15/12:00~おはぐろ池 12:30~血の滝 13:00
~石尊山登山口 P14:00=岩舟支所 P16:45

去年の望年会の時に、「以前登った石尊山に登りたいね」とリクエストがあり計画した。

紅葉にはまだ早いですが、暑くなく登山にはちょうど良い時季と思い計画したが、天気予報には翻弄された。北関東道は雨で、上信越道の横川SAに着くと晴れて、絶好の登山日和に安堵する。碓氷軽井沢ICを降り、軽井沢を抜けて追分宿から旧道に入り、途中右折して1000m道路に出た所が登山口。登山口には数台止められるスペースがあり、登山届を出すポストが置かれているがトイレは無い。

車を止められるか心配したが、キノコ採りの軽トラックが1台止めてあるだけだった。

ストレッチを済ませ、登山届を出して出発する。樹林帯に付けられた、真つぐな登山道を進むと林道を横切る。さらに同じような道を緩やかに登って行くと林道に出て、少し林道を歩き左の登山道に入る。ここからは登山道らしくなり、左から沢音が大きくなると「血の滝」入口に着く。ベンチで休憩し、熱いコーヒーと菓子でエネルギーを補給する。休憩後、ベンチにザックをデポして「血の滝」を見学に行く。茶色く濁った沢に沿って進むと、



右側に洞窟があり石仏が2体祀られている。その先に茶色く染まった滝が、ドウドウと勢いよく流れ落ちていた。ベンチまで戻り、ザックを背負って先に進む。血の滝の上で沢を渡り、沢の右岸を登るようになる。段々傾斜がきつくなり、T字路の分岐に出てどちらも石尊山山頂に行けるが、左の登山道を進む。左に進むとすぐに池があり、おはぐろ池と標識が立っている。池の畔で休憩し、グレープフルーツで喉を潤す。ここからはさらに傾斜が急になり、樹林の中をゆっくり登って行くと平らに開けた石尊平に着く。振り返ると浅間山が大きく見え、ウワ~綺麗と歓声が上がる。「山頂に行くともっと素晴らしいよ」と励まし、最後の急坂に取りつく。本当に急な登山道を、一步一步ゆっくりと登ると山頂に飛び出た。山頂からの眺望は素晴らしく、北側には雄大な浅間山が間近に見え、南側には軽井沢の市街や西上州の山々が望める。山頂の標識の前で記念写真を撮り、昼食の用意をする。今日の山ご飯は、チタケうどん。チタケと霜降りヒラタケをふん



だんに入れた汁は抜群で、皆さんとても美味しいと大好評だった。山頂は我々の貸切で、のんびりとお茶

を飲みながら景色を楽しむ。女性達がようやく腰を上げ、下山する。来た道に戻り、時間に余裕があるのでゆっくり降る。途中、「血の池」入口で休憩し、「こんなに良い山なのに登山者が少なくてもったいないね」と誰かが話していた。確かに山頂からの浅間山は、一級品の眺望だと思った。ここから先は傾斜が緩く歩き易くなり、おしゃべりしながら登山口に着く。登山口には別の軽トラックが止まっており、やはりキノコ採りのようだ。この後もキノコ採りの車が来て、別荘地の林に入って行った。この時季は登山者よりも、キノコ採りの人達の方が多いようだ。野菜を買いたいとの要望があり、18号を小諸市の方へ向かったが直売所は無く、戻って横川SAに寄りお買い物。I田さんも希望した山を皆と一緒に歩け、自信を取り戻したようで本当に良い山行だったと思った。

